

ご意見をお寄せください!

(仮称)長崎市男女共同参画推進条例(骨子)

◆募集の趣旨

長崎市では、一人ひとりが性別によらず、あらゆる分野で活躍することが、男女共同参画推進条例の趣旨です。つきましては、お寄せください。

を十分に発揮し、男女があらゆる分野で活躍し、「(仮称)長崎市男女共同参画推進条例」の趣旨・情報を、皆さんのご意見・情報として考えています。

男女共同参画を一緒に考えましょう!

～条例制定に関する市民意見交換会開催～

長崎市は女性問題に関する条例を制定するにあたり、懇話会に意欲的なメンバーをそろえてその提言を待った。5月中旬、長崎市女性問題懇話会は名称を「男女平等参画条例」とした、前文と5章からなる内容を答申。市はこれを受けて(仮称)長崎市男女共同参画推進条例(案)を作成し前文と18条からなる骨子を公開した。

これについての意見募集と意見交換会をやるとする市の姿勢をばってん・うーまん会が高く評価する。男女共同参画を推進していくのは市民1人1人の意識の変革によらなければならない、その変革を促す1つがこうした情報公開である。市の呼びかけは必ずや市民の関心を呼び、1人の関心がまわりに波及して参画社会を作り上げていくものと確信する。

さて、ばってん・うーまん会は意見も送り、7月19日(日)に行われた意見交換会にも参加して次のような考えを述べてきたので1ページの増頁になるが載せてみたい。

文中の囲みは意見、黒文字は意見に合わせた文言変更、黒文字囲み線は挿入文言となる。

条例の名称は「男女平等参画条例」に！

社会的慣習、社会的偏見、男女役割分業論などにみられる差別を受けてきたからこそその解消をめざすための条例作成ですからぜひここは「平等参画」にして欲しい。共同参画は対等なもの同士に使用されるはず。男女は現時点ではまだ対等ではないことは女子差別撤廃条約を見ても明らかです。

以下すべての「共同参画」という言葉を**平等参画**にかえ、[前文]以下の「男女」を「女性～」に改めることによって条例が作られた意味がはっきりと市民の心にきざまれると思います。

例【用語の定義】より

1 男女共同参画

本文

- ・男女が、社会の対等な構成員であること
- ・男女が、自らの意志で、あらゆる社会活動に参画する機会があること
- ・男女が、あらゆる利益を均等に享受し、責任も共に担うこと

1、男女平等参画

意見

- ・女性**は**社会の対等な構成員であること
- ・女性**は**みずからの意思であらゆる社会活動に参画する機会があること
- ・女性**は**あらゆる利益を均等に享受し、責任もともに担うこと

第3 基本理念の項について

女性が家庭生活を担うだけでなく社会生活も担う存在になってきた今、長い世紀にわたって女性を圧迫してきた社会慣習、偏見、役割分業論を取り払うために国の基本法が出来ました。主眼はこれまで男性が圧倒的多数で占めてきた仕事の場に参入する女性に置かれていると思います。ですからここは、あいまいにぼかさず「女性・職業生活」をきちんと明記したほうが基本理念の筋が通るのではないのでしょうか。

第3 基本理念（市、市民および事業者が責任を果たすうえで基本となる考え）

本文

1 男女の人権の尊重

- ・個人としての尊厳が重んじられること
- ・性別による差別的扱いを受けないこと
- ・個人として能力を発揮する機会が確保されること

2 社会における制度または慣行への配慮

- ・性別による固定的な役割分担を反映して、男女の社会における活動の選択に対して影響を及ぼさないよう配慮されること

3 政策、方針の立案および決定への共同参画

- ・男女が対等な構成員として、市の政策または社会のあらゆる分野における方針の立案および決定に、共同して参画する機会が確保されること

本文

4 家庭生活とその他の活動との両立

- ・家族が、相互の協力と社会の支援のもとに、養育や介護などの家庭生活における活動とその他の活動を両立して行うことができること

5 妊娠、出産その他の性と生殖に関する健康についての配慮

- ・男女が、お互いの性を尊重するとともに、妊娠、出産、その他の性と生殖に関する事項について、自らの決定が尊重され、生涯にわたる心身の健康に配慮されること

6 国際社会の動向への留意

- ・男女共同参画の推進は、国際社会と密接な関係を有するため、その動向に留意すること

意見

1、女性の人権の尊重

- ・**直接的または間接的に**性別による差別的扱いを受けないこと

2、社会における制度または慣行への配慮

- ・性別による固定的な役割分担を反映して、**女性**の社会における活動の選択に対して**中立でない**影響を及ぼさないよう配慮されること

4、家庭生活と**職業生活**その他の活動との両立

家族が相互の協力と社会の支援のもとに、養育や介護などの家庭生活における活動と**職業生活**その他の活動を両立して行うことができること

5、妊娠、出産その他の性と生殖に関する健康と**権利について**の配慮されること

いわゆる2000年プランで出てきた分野のリプロダクティブ・ヘルス/ライツの概念を基本理念として入れたことは他県、他市に勝るものとして高く評価します。ただしリプロはヘルス/ライツとなっはじめて女性の人権となるわけですからライツを欠いては意味ないと思います

本文

第4 責 務（基本理念を受け、それぞれが果たすべき役割）

1 市

- ・男女共同参画の推進に関する施策を策定し、および実施する責務を有する
- ・必要な予算措置等を講じるよう努める
- ・施策を策定または実施するときは、市民および事業者と連携を行う

2 市民

- ・職場、学校、地域、家庭その他の社会のあらゆる分野で、男女共同参画の推進に努める
- ・市が行う施策に協力するよう努める

3 事業者

- ・事業者は、その事業活動に関し、男女共同参画の推進に努め、その雇用する男女について、雇用上の均等な機会および待遇を確保するとともに、職業生活と家庭生活における活動の両立できる職場環境の整備に努める
- ・市が行う施策に協力するよう努める

意見 1、市

- 男女平等参画の推進に関する施策(積極的改善措置を含む)を策定し、云々が必要。
 - 必要な予算措置、云々。この項は評価
 - 施策(積極的改善措置を含む)を策定または実施するときは市民および事業者との意見、情報の交換その他の連携を行う。この項は評価
- 2、市民
- 市が行う施策に協力するよう努める。この項は評価
- 3、事業者 この項は評価

〔市の基本的施策〕

第5 男女共同参画計画

本文

- 1 男女共同参画に関する基本的な計画を策定する
- 2 計画の策定にあたっては、あらかじめ市民および長崎市男女共同参画審議会の意見を聴く
- 3 計画を策定または変更したときは、公表する

意見

第5 男女平等参画計画

- 3、計画を策定または変更したときは遅滞なく公表する

本文

第6 市の政策決定過程への共同参画の推進

市の附属機関である審議会等の委員を選任するとき、一方の性に偏らないようにする。

意見

第6、市の政策決定過程への平等参画の推進

市の付属機関である審議会等の委員を選任するとき、女性委員の数が委員の総数の10分の4未満とならないよう選任しなければならない。(数値目標を入れてください)

本文

第8 市民の理解を深めるための措置

男女共同参画の基本理念に関して、市民の理解を深めるため広報広聴活動などを行う

意見

男女平等参画の基本理念に関して、市民の理解を深めるため市民の参画による懇話会の開催等の広報・公聴活動などを行う。

本文

第9 教育および学習の振興等

- 1 市民があらゆる機会を通じて、男女共同参画について関心と理解を深めるため、学校教育および社会教育における男女共同参画に関する教育または学習の振興を図るための措置を講ずる
- 2 教育にたずさわる者に対して、個々の教育本来の目的を実現する過程において、男女共同参画の基本理念に配慮した教育を行えるよう必要な措置を講じる

意見

第9、教育および学習の振興等

1、この項の起項は評価しますが、成人にとって今までの生育過程に染み込んでいる男女役割分業の姿から解放されることは至難の技といえます。そしてジェンダーに気づかないままに一部男性の反発の声もでてくるわけで、もちろん社会教育として公民館等での講座も必要ですが、ここはやはりマスメディアの影響も陰に陽にあるわけですから協力願ってはどうでしょうか。2項として挿入する

2、マスメディア及び情報発信に携わる者は、常にジェンダーに配慮し、性別または固定的な性別役割分業意識にもとづいた表現などを行わないことに留意するとともに、男女平等推進に資するような情報発信に努めるものとする。

意見

次にこれから社会人となる次世代に対しては学校教育で計画的に副読本などを作って教育していく必要があると思います。従って男女平等教育として別項を立てて欲しいと考えます。

第10、男女平等教育の推進

幼稚園、保育所、学校教育その他のあらゆる教育に携わるものは、男女平等参画社会の形成に果たす教育の重要性にかんがみ、個々の教育の目的を実現する過程において常にジェンダーに配慮し、男女平等参画の理念に基づいた教育に努めるものとする。(なお、定義として「ジェンダー」を位置付けること。)

意見

懇話会提言として(雇用等の分野における男女平等参画の推進)と(事業者の表彰)がありますがこの項は利潤追求優先の企業に対して市の目が光っていることを意識させる大変重要な項目であるととらえます。この項はぜひ生かして欲しいと考えます。

本文

第10 相談及び苦情の申出への対応

- 1 性別による差別的取扱いなどの相談の申出があった場合には、関係する機関などと連携し、適切な措置を講じる
- 2 男女共同参画の推進に関する施策または男女共同参画の推進に影響を及ぼすと認められる施策に関して、苦情の申出を受けた場合には、関係する機関と連携し、適切な措置を講じる
- 3 必要があるときは、長崎市男女共同参画審議会の意見を聴くことができる

意見

第10 相談及び苦情の申出への対応の項と第17条性別による権利侵害があった場合の措置の項には処理救済執行機関の付属機関として第三者機関の設置を強く要望します。ここはもちろん「役人でない機関」として設置し、組織としては定数、資格、期限付き任期、市長からの委嘱などをさだめるべき。

本文

第18 公衆に表示する情報の制限

何人も、公衆に表示する情報において、性別による固定的な役割分担の意識を助長するような表現や、男女共同参画の推進を阻害するような表現を行わないよう努める

意見

第18 公衆に表示する情報の制限

何人も、公衆に表示する情報において、性別による固定的な役割分担の意義

及び女性に対する暴力を(性的暴力を含む)助長するような表現 云々。

以上

他の意見者からは懇話会提言内容と変わった理由を問う声、9月制定を既成とせずもっと時間をかけてつくるべきとの声があった。たしかに意見募集期間は3週間、意見交換会は一箇所1日のみとは市民各層へ行き渡るには十分でない。条例の重要性からいえば、たとえば事前に1週間ぐらいテレビで流す予算がほしかった。これによって大多数のひとの関心をひきつけたはずである。なお、今回の催事にあって市は460件の文書送付をしたそうである。また、交換会当日の出席者は女性議員をふくめて26名であった。